

バスの乗り方 理解できたかな？

福井鉄道親子鉄道教室 開催

20120722



● 関連記事
3ページ

☆☆活動報告☆☆

- 7月13日 カーフリーデー出展説明会
- 7月18日 7月例会・第100回理事会
- 22日 福井鉄道親子鉄道教室
- 8月11日 さばえ環境フェア2012
- 8月20日 カーフリーデー出展会議□

☆☆今後の予定☆☆

- 8月22日(水) 8月例会・第101回理事会
- 24日(金) 福井市地域生活交通活性化会議
- 9月14日(金) カーフリーデー出展会議②
- 19日(水) 9月例会・第102回理事会
- 22日(土) 第6回カーフリーデーふくい

ゆうじんの部屋 書籍紹介

鉄道は生き残れるか(副題)「鉄道復権」の幻想

(著者) 福井義高 中央経済社 1600円+税

現在の交通制度を前提とすると、生き残れる鉄道は新幹線(これから作る整備新幹線はダメ)、大都市大量輸送だけで、結局沿線に人口が集中している場所での隙間産業が鉄道で、それ以外の地域では飛行機と車が便利というのが結論。どこも海に近い日本では鉄道貨物輸送も不要という主張である。

日本人の政治力が適切な負担調整ルールを作れないのであれば、著者の言う通りの未来が訪れるのは間違いない。鉄道会社もそれを前提としたローカル線廃止、投資抑制を進めざるを得ないであろう。本の中に高速道路無料化を批判した部分があるにはあるが、クルマ社会がこのままでいいのかという検討は不十分である。

一般道路や駐車場を含めた適切なクルマ利用者への課金制度が事態打開の鍵というのが私の意見である。

東海市会員 美濃部 雄人 Minobe Yujin

カーフリーデーふくい2012 チラシ完成・実行委員会開催 20120820

カーフリーデー福井2012のチラシが、今年は早々と8月15日に完成し、本日20日の実行委員会で配布され、お盆明けに配り始めるという当初の計画が実行できました。このNEWSと一緒にお届けしますが、画像データは、カーフリーデーふくいのホームページからダウンロードもできます。

<http://cfd-fukui.roba.iinaa.net/>

8月20日の実行委員会では、テント、机、いす、電源などの備品の持ち込みが可能かどうか、レンタルが必要かどうかについての最終確認を行いました。とくに、電源の確保については、今後、同じ会場で連携して開催する「ふくい夢プラン」の関係者との調整が必要です。

また、参加者に楽しく過ごしてもらえるように、統一横看板のタイトルを決めたり、会場の各コーナーのレイアウトの調整を行ったり、具体的な内容が少しずつ明らかになり、相互の連携などについても協議を行い、その概要が決まりました。新たな参加予定者として、福井市環境推進会議が自転車をテーマに参加を検討しているとの報告があり、ますます楽しいイベントになりそうです。

今後とも引き続き、CFDFメーリングリストで情報交換をおこない、次回は、9月14日(金)に、開催日1週間ほど前の最終調整の会議を開催することになりました。

なお、ボランティアによるイベント支援が3名予定されているとの報告もありましたが、会員の皆様も時間を作っていただいて、運営参加、イベント参加をよろしく。(文責：林 博)

福井鉄道親子鉄道教室報告

7月22日に福井鉄道親子鉄道教室に参加してきましたので報告致します。当日の集合は浅水駅でした。集まった親子は7~8組程度。夏休み最初の土曜日ということもあってか、参加は少なめ。ただ、路面電車のことを研究したいという中学生の女の子とそのお父さんも特別参加されていてうれしい面もありました。

最初はバスの乗り方教室。パーク&ライド駐車場にバスが到着して参加者が乗り込み、福井鉄道岡山部長の司会で教室が始まりました。講師は自動車部の伊藤部長。参加者は事前にバスの入り口で整理券を取っており、その整理券と運賃表を見て運賃を確認すること、ブザーを押して降車を知らせることなどを習い、また、バスの中での過ごし方等も習いました。

そして一行は駅に戻り電車で西鯖江駅に移動したのですが、電車が浅水駅のホームに入ってくるのを見て、子供たちは電車の車番を声に出して確認。さすがは電車少年たちでした。西鯖江駅に到着すると嚮陽会館まで徒歩で移動。2階のホールにて親子鉄道教室を開始しました。実は、当初の予定では移動の電車の中で乗車マナーなどの教室を始める予定だったのですが、他の乗客もいるからということで会場に入ってからまずマナー教室を行うことに変更になりました。そして、プロジェクターを使った講義に移行。パワーポイントで、今年度福井鉄道に導入されるLRVと同型の、熊本市電、岡山MOMO、高岡アイトラム、富山のポートラムとセントラムを紹介。そのあと福井鉄道の沿線と電車のおさらいをして、最後に富山ライトレールと環状線の動画で、床の高さや沿線の様子、バリアフリーやホーム to ホームなどを説明して教室を終えました。畑さんが用意していたミニワークショップは、マナー教室の分、時間がオーバーし実施を中止しました。他に、玉井さんにはビデオ撮影を担当して頂きました。なお、岡山 RACDA の岡会長に開催をお話ししたところ、「ビデオで撮った教室の様子をデータでほしい。岡山でも開催を考えたいので参考にしたい」とのリクエストも頂きました。

親子鉄道教室の講師をしたのは3回目になりますが、実はいまだに模索状態。子供たちが何に興味を持ってくれるのか、はたして楽しんでくれるのか、公共交通に親しむ一助になれているのか、確信は持てません。マンネリ化を避けて、今年から内容をガラッと変えましたが、参加した親子から「いつものがなかったね」と残念がられたりと、本当に模索の状態、ノウハウを蓄えているという状態ではないというのが正直なところです。逆に、今度は岡山 RACDA と情報交換を行って、もっといい親子鉄道教室というものを考えていかなければならない。そのような感想を持ちました。

以上

(文：清水省吾)



岐阜県 地域バス乗車報告その1(多治見市)

「多治見市と土岐市のまちなみ散策+コミュニティバス乗車」

(報告 はた みゆき)

以前から、多治見焼の花器を手に入れたかったこともあり、GW 前半の 4 月 29 日 **天気は快晴の 30℃**、土岐市で仕事をする家族のクルマに運よく便乗し、9:00~18:00 までの自由時間を使って、多治見市と土岐市の探検に出かけました。

多治見市にはコミュニティバスが 5 ルート (北・南・オリベ・駅周・総合福祉センター・太平公園線) が走っています。このうち休日に運行しているのは南ルートとオリベルートで、路線バスは東濃鉄道バスが多治見市内ルートその他、市域を超えて多治見駅⇄土岐駅、多治見駅⇄瑞浪駅を結んで運行しています。

さて、運よく自宅からクルマに乗り、多治見駅前付近で降ろされ AM9 時、ノーマイカーデーとなった私は、とりあえず観光案内所に行こうと駅へ向かうも、駅付近にいたおじさんに、「**オリベストリートまでは歩いて 10 分くらいだから、川沿いを歩いていきなされ**」と。

言われる通り、まちなみ散策を兼ねて川沿いを歩くと、“やっ！カワウ発見！” →カワウを近くで見たい！ 衝動にかられ水辺へ。するとそこには、福井の河原では見た事のない植物が生育しており、多治見焼そっちのけで、貴重な時間を河原の植物調査に費やしてしまいました。



コミュニティバス「ききょうバス」



多治見駅⇄オリベ ST を結ぶ馬車



さて、オリベストリートですが、道路舗装も高質化されており、良い感じの街並みになっていました。お目当ての多治見焼の花器は、覚悟をしていたものの 30 万円~50 万円という値段で買えず、3 万円の花瓶を購入しました。(観光地では金銭感覚がおかしくなりますね)

おそいお昼ご飯と、気が済むまで散策と買い物を楽しみました。「はっ！コミバスに乗ってないゾ！」と気づき、炎天下で歩き疲れたし、荷物もあるし、「多治見駅までコミバスだな、こりゃ」と思い、たじみ創造館内の観光案内所でお話を聞いたところ……、「えっ！(「▽」;)」というお返事が帰ってきました。

どうやら、コミュニティバスの事が全く分からないようです。バス停があることだけは知っている感じでしたが、何とも話が通じません。「歩いて 10 分、バスより歩いた方が早いですよ〜」と。(「w」;) 案内できないから歩けって??! 残念…)

私としては、太陽がジリジリ出ているし、日傘をさして荷物を持って歩きたくないので、必死に食らいつき、「自分で調べますから路線図と時刻表を下さい」とお願いしたら、「1 枚しかないの」とのお返事が……。これって、ありでしょうか。何とかコピーをしてもらい、無事駅にたどり着きました。

岐阜県 地域バス乗車報告その2(土岐市)

さあ続いて、JR 多治見駅から中央本線で土岐市に入りました。お昼からは明知鉄道の旅に出る予定をしていましたが、時間的にハードな行程で“乗るだけ”になってしまい、その割に疲れるばかりなり。という結果が予想されましたので、急遽、土岐市のコミバス（市民バス）に乗る事にしました。家族との合流まで3時間の自由時間を利用しての旅となります。

結果からお知らせしますと、「コミバスには乗れず、路線バスに2回乗りました！」

何ともお粗末な結果ですが、土休日運行している路線は13路線のうち5路線で、運行便数が1日1便/2便/3便/6便という具合で、15時すぎに土岐市入りした私の都合に合うコミュニティバスがなかったという状況です。

さて、観光案内所でプチ観光を希望した私に、“美濃陶磁歴史館&織部の里公園”を紹介してくれたのですが、「地下道をくぐって坂を上り15分歩いて下さいね」と。「あれ～荷物を持ってまた歩くの?!」と、テンション急降下し、「根性だ!」「気合いだ!」と、自分に言い聞かせてしばらくすると、路上駐車のカルマ群を発見!!

交通量が全くない道路区間にスーパー（1階がスーパー、2階以上が住宅）が立地し、その買い物客のおクルマでした♪。スーパーに隣接して自走式2階建駐車場がありますが、「路駐の方が気軽だし…、自転車レーンが駐車帯みたいで止めやすいし…。」みたいな感じでの路駐なのでしょうか。（自由～だね♪）



さあ、プチ観光も終わり家族との合流時間も迫ってきましたので、案内所で教えてもらった路線バスに乗車♪→何の問題もなく無事辿りつくはずが…（「w」;）

☆その①：乗車した路線バスが5分早く出発し、「あれ?」と思いつつ…1Km進み市役所前。ここで運転手が駅に向かってUターンし、車内の運賃表示も「系統設定」に変わる。運転手は駅で乗客の有無を確認後、何事もなかったかのようにリスタート(GO GO～)



☆その②：遅れを取り戻すのと同時に、町内の細い道や山道のカーブを猛スピードで走り…。→あれ?クルマ酔い?? そうです。未知の道だったので路線図を確認しながら乗車したせいです。

☆その③：あれ?通り過ぎた気がする…; そうです。観光案内所で聞いたバス停はなかったのです。（だと思った…そんなバス停書いてなかったもの!）次のバス停で降りて戻ろうと思いつつ、私を乗せたバスは山あいを1Kmちょい走りました。「歩いて戻るか」と覚悟を決めて、一応、対向

車線のバス停で時刻を確認中、何とバスがやってきました。ラッキー! バスがキラキラ☆輝いて見えましたよ～。ホントに。。



☆その④：私が下車する予定だったバス停、平日なら市民バスの運行路線のため100円ですが、休日は通常運賃に戻り370円なり。

（まとめ）多治見市でも土岐市でも、「歩いて下さい」の声をかけられ、ちょっぴり気が滅入る経験をしました。どこの地域でも同じですが、地域の足となるバスをもっと便利に使えると良いですね♪

土岐駅に停車中の市民バスと路線バス

林家ページのホジロバ旅行記 その6 秋田内陸縦貫鉄道をゆく

11月13日は、あいにくの雨の中、弘前を離れJR鷹ノ巣駅で乗り換え、秋田内陸縦貫鉄道へ。鷹ノ巣→阿仁合→角館まで、のんびりと、楽しい旅でした。

沿線のまちづくりが楽しかった。駅構内には、「駅前親と子の会」が作る花壇、定番だが待合室の座布団、ゆるキャラ？「森吉じゅうべえ」など、地域の住民が参加している様子がうかがえた。また、阿仁前田駅は、駅舎が温泉施設になっており、温泉道具を持って利用していた乗客もいました。

秋田内陸縦貫鉄道に乗って、中間駅の「阿仁合駅」で乗り換える待ち時間を使って「鉄ちゃん」がすることといえば、構内の電車見学。でも、ホジロバ「街（まっ）ちゃん？」は、あえて乗換駅を出て、人気のない街のまち歩きへ。早速、不思議な木像をあちこちで発見。近くのミニスーパー（コンビニサイズ）で聞くと、木工組合がイベントの際に作成したそうです。

再び電車に戻って、車掌兼お土産販売員兼アテンダントから、おすすめのお餅を買ってしばし雑談。撮影スポットでは、電車はスピードを落として（というより橋の上で止めて）じっくりと味わえるよう、大サービス。紅葉の時期を少し過ぎてしまっていたのは残念、わずかですが名残はありました。

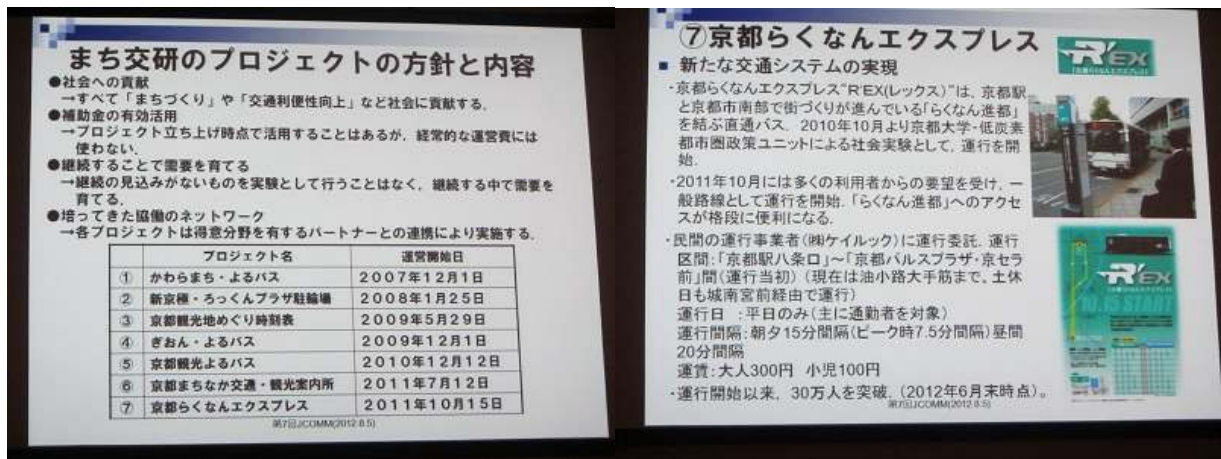
秋田内陸縦貫鉄道「鷹ノ巣駅」	鷹ノ巣駅構内と電車	ホリデーフリー切符 2,000円	
車窓から「親子花壇」や、「森吉じゅうべえ」さんを発見	阿仁前田駅温泉：駅舎が温泉で、乗客も温泉道具を持って利用	阿仁合駅 中継地のため、各種電車がみられ、鉄ちゃんのメッカ	
阿仁合：まち歩き 木像？発見 トトロやドラえもんも	阿仁合：まち歩き 北緯40度線発見！「夢の狩人・マタギの里」		秋田内陸縦貫鉄道「角館駅」

角館に着くころには、ようやく雨も上がりました。

まだつづく！ 次回完結

先日、富山国際会議場で行なわれた第7回日本モビリティ・マネジメント会議（JCOMM）に参加してきました。都合により2日目（8月5日）の一部プログラムのみ参加でしたが、私の出身地京都の事例が多く取り上げられていて、興味深く聞いていました。その中からいくつか紹介します。

京都まちづくり交通研究所からは「かわらまち・よるバス」「ぎおん・よるバス」「京都らくなんエクスプレス」等のプロジェクト紹介がありました。今まで路線バスの新規需要がありながら見過ごされていた部分に着目し成功した事例ですが、これを参考に他の地域や都市でも同様の取り組みが実施されることを期待したいものです。



京都らくなんエクスプレスは土曜休日の運行も開始し、イベント来場者や観光客の便宜を図っている。

また、京都府亀岡市のMM教育事例では、公共交通だけでは題材に乏しいため宅配便業者の物流改善策にも着目されていました。宅配便のカーンを京福電鉄嵐山線の車内に積み込む様子や、電動自転車や電動バイクで荷物を運ぶ様子が紹介されていて、環境負荷を少なくするには、人の移動だけでなく物の移動も含めた総合的な取り組みが必要であると改めて考えさせられる事例でした。

JCOMMへの参加は今回が初めてでしたが、研究機関や教育現場の方の発表が多く、路面電車サミットやバスサミットとはまた異なる雰囲気を感じることができました。道路（自家用車）のみに特化した内容（株式会社交通システム研究所の「阪神高速 SAFETY ナビ」等）もあり、普段公共交通だけに注目している者にとっては、視野を広げる良い機会になりました。



宅配便の物流改善事例も MM 教育に採用



会場からの帰路はコミュニティバスを利用



作/漆寄 耕次

広告や看板がきになる…！（その2）



今年は仕事の都合+プライベートにて、名古屋に出かける機会が良くありまして…。JR 高島屋でお買い物でもしよう！と、地下道から店内に入る時に見つけたチラシです。色がたくさん使っており、「キレイな色」と写真を撮った後に、電車とバスのチラシだった。と言う事に気付きました。

なんかいいでしょ～*:(´▽`)*:

電車やバスで行ったからと言って、切符の割引なんかはありませんよ。もち) 大都市の駐車料金はべらぼうに高いので、電車・バスで行った方がいいですよ。5,000円以上でないと1時間割引してくれないし… とにかく高いっ！

続いて、名古屋市緑区で見つけた放置自転車の注意タグです。地下鉄駅近くに有料自転車Pと無料自転車Pが並んで設置されています。

どこの都市でも同じような放置っぷりですね。



編集後記・・・編集委員より一言

内田（発行責任者）

「今年のカーフリーデーは福井市から2 セクション、福井県から1 セクションの積極的な参加があり、ますます広がりを見せています。多くの会員のみなさんの参加をお願いします。」

林(変集長)

「森田駅前（京福バス）のベンチがカラフルになりました。」

事務局 特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会 (ROBA)

910-8031 福井市種池1丁目1905-3

TEL : 0776-25-7968 FAX : 0776-36-4454

e-mail : roba@mbh.nifty.com

URL : <http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>